

一宮西高校同窓会報

発行 愛知県立 一宮西高等学校 同窓会

創立三十周年を目前にして

同窓会監査 松山 猛



西高同窓生の皆様におかれましては、ますます清栄

のこととお喜び申し上げます。

例年八月に開催されます同窓会総会も、回をかさねることに盛大となり、同窓生の懇親を深めるのみならず、各界各層で

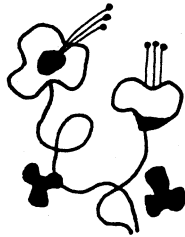
の皆様の一層のご活躍に資する誠意に有意義な集いと発展してまいりました。これも同窓生皆様の援助の賜物と心より御礼申し上げます。

さて、一宮西高校は平成五年に創立三十周年を迎えることとあいなります。平成三年度において同窓生一万人を数えるまでに発展したと言えども、第一回生がようやく社会の中堅となりつつある、ま

まだまだ若い高校であります。

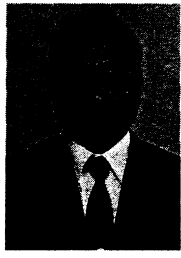
今後より一層、教育環境を充実し、さらなる発展を目指し、社会に資する有為な人材を輩出して頂かなければなりません。そしてこの三十周年を機会に、同窓会と致しまして、母校の充実発展に寄与することができましたら幸いと存じます。是非、同窓生皆様のより一層のご援助を賜りたく重ねてお願い申し上げます。

末尾となりましたが、本年も同窓会総会を八月四日に開催の運びとなりました。ご多忙のところ恐縮に存じますが、なにとぞご参加頂けますようお願い申し上げます。



ちよつと、気になる話

学校長 新屋 哲夫



高校進学率が、九〇%を越す昨今、多種多様な生徒が

入学している。高校に対する色々の批判もあるが、各高校与えられた生徒に懸命に努力しているのが実情である。各学校を大別すると次のようである。一、多様な生徒が在籍し、学習、生徒指

導面等で課題の多い学校。

二、県内における普通科として平均的な学校

三、生徒の大多数が大学進学希望である学校。

本校は、三の優秀部類に入り、卒業生の誇りとする学校であり、地元中学生の入学したい学校の一つになっている。

この三月の大学進学は、例年どおりの実績をあげ、特に今年には国公立大学志向

の強い土地柄が、三百五名の合格をみた。一方部活動も盛んで高校総体尾張地区で三年連続総合優勝しており、西高祭も先輩からの伝統を受け、青春を謳歌しながらも大学受験への切替えも見事であった。三十年近くの歴史の積み重ねが今ここに

ある訳で、まさに成熟期の学校であるといふ自負している所です。

四月に入り、新制度の複合選抜入試制度による生徒が出揃い、心新たに伝統の継承をめざして努力しているが、運動部が相次いで敗退し、生徒会長は立候補なし、やっと五月下旬に決着、進路部の先生方は、模試の結果をみて顔面蒼白になり議論が多くなる。勉強も部活動も生徒

総会のお知らせ

本年度の同窓会総会を左記の要領で実施いたします。

多数のご出席を心待ちにいたしております。

- 日時 八月四日(日)正午開始 終了後、懇親会を準備しております。
- 場所 真清田神社 参集殿
- 会費 二千元 (ただし学生は千円)

※なお、準備の都合上、出欠席の葉書を七月二十日までに提出してください。



会もリーダーがない。温厚すぎる。など意見が交わされる。

この現象は一過性のものでしょうか。「チョット気になる」校長の不安が起る。行事や部活動をいつ見直し、進学校の特色を維持するか、難しいものだ。

平成五年度は、三〇周年をむかえる。PTA、同窓会の協力を得て記念事業を計画したい。事業に伴う財源の確立は必須条件であるが、父兄負担の軽減は、教育委員会の強い指導があり、同窓会への依存も過去の実績から無理なような気がする。縦・横の組織力の弱さがあるのか総会も不発の感がある。

三〇周年事業も「文武両道」の実績を

もつ、名門高校にしては、「チョット気になる」校長の不安である。

卒業期ごと、クラスごとの同窓会が活性化され、それが大きな固まりの縦組織としての同窓会となれば……と願っている。

